



発行
第50号

令和8年2月

公園緑地愛護会報／前橋市公園緑地愛護会連合会

前橋市公園管理事務所
前橋市六供町2丁目55-20

公園を守り、未来へつなぐ

前橋市公園緑地愛護会連合会 会長（みやぎ千本桜の森公園愛護会） 高橋 洋一



前橋市内で日々活動されている公園緑地愛護会の皆様には、清掃や除草、樹木の手入れなどを通じ、公園を支えていただいていることに、心より感謝申し上げます。皆様の取り組みのおかげで、地域にとって身近で安心できる公園を守ることができています。

私に関わるみやぎ千本桜の森公園は、前橋を代表する桜の名所として、多くの来園者を迎えてきました。園路の整備、樹木の伐採や剪定、菜の花と芝桜の手入れなど、安全性や景観に配慮した管理を心がけ、自ら手を動かしながら、仲間とともに公園づくりを進めています。また、近年深刻化しているクビアカツヤカミキリの被害についても、桜を将来へ残すため、行政や地域と連携しながら対策に取り組んでいます。日々の取り組みの中で、公園は作ったら完成するものではなく、時代や利用者に合わせて育て続けるものだ実感しています。

今号では、子どもや若い世代が公園を舞台に活躍する姿が多く紹介されています。こうした新しい力が加わることで、愛護会活動はより広がり、次の世代へ確実につながっていくはずです。これからも、現在活動されている愛護会一つ一つの取り組みに感謝しつつ、皆様と共に「美しい前橋」を守り育てていきたいと考えています。



令和7年度は子どもたちが公園を舞台に様々な取り組みを行いました。その一部を紹介いたします。

文二ふれあい公園の遊具のペンキ塗りを実施

文二ふれあい公園愛護会

会長 古田 正信

当公園は、1年を通して子どもからお年寄りまで、色々な活動に利用されていますが、公園の遊具が色あせているので塗り替えたいとの提案が文二子供育成部からありました。市の了解も得て、9月28日に滑り台とブランコの塗り替えを実施しました。子どもたちは不慣れで服を汚したり、高いところは親にも手伝ってもらいながらなんとか仕上げました。滑り台はあざやかなキリンの模様になり、皆、大喜びです。

その後、花壇のふちのコンクリートブロックにもカラフルな色付けをしてくれ、公園が明るくなりました。

公園は冬場を除き、町内の人たちが毎月2回清掃してくれていますので、皆さんが尚一層楽しんでくれるものと思います。



高校生が行う再開発

下沖公園 県立前橋高校生徒

山田 直希

私たちは、探究の授業の一環で、前橋高校の東側にある下沖町公園の活性化をテーマに活動を行っています。具体的には、公園管理事務所の助けもお借りしながら、公園の遊具の塗装やベンチの作成などといった環境整備を行いました。私たちは、下沖町公園を誰でも安心して休憩や遊ぶことができる公園を目指しています。規模の小さい公園ですが、春は桜、秋は紅葉を見ることができると、四季を感じながらくつろぐことのできる公園です。近くに立ち寄った際には、ぜひ公園に来て、くつろいでいてください。まだ発展途上の未熟な公園ですが、よろしくお願いいたします。



今年度の事業計画に「公園整備の充実」を掲げて

大利根町公園愛護会

会長 岡 正雄

令和7年度大利根町自治会の事業計画には、「中央公園をはじめ、各公園の整備を充実し、公園の活用促進を図る」と掲げました。

昨年度には、地域の子どもたちと一緒に「SDGs パートナー制度^{*1}」や、前橋の地域若者会議、共愛学園前橋国際大学の学生たちが企画参加する「大利根中央公園の遊具を塗るイベント」を行いました。

その効果として公園が明るくなったと好評で、最近では、子どもたちが遊具に多数登っていたり、幼稚園児たちがバスで他の町から遊びに来たり、家族でシートを広げて弁当を食べたりしている光景を目にすることが度々あります。

今年度は、子どもたちの「中央公園のように他の公園の遊具もペイントしたい」という意見を踏まえ、「まえばしこどもアイデアまちづくりプロジェクト^{*2}」に、「大利根町だいすきっず」として応募し、子どもたちをリーダーに町の文化祭の行事として「すみれ公園の遊具ペイント」を実施しました。素晴らしい秋晴れの当日は、子どもと保護者の嬉しそうな笑顔が溢れていました。

感謝です。



	<p>*1「SDGs パートナー制度」</p> <p>地域の企業、団体、学校、個人が、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて取り組むことを宣言し、自治体と連携して推進する仕組みです。公園管理部門では、令和7年末時点で9団体と協定を結んでいます。</p>
	<p>*2「まえばしこどもアイデアまちづくりプロジェクト」とは</p> <p>子どもたちの自由な発想をまちづくりや地域活性に活かそうとする取り組みです。身近な課題を子どもたちが考え、大人たちとともに解決していきます。</p> <p>問い合わせ先: 市民協働課 地域づくり係 (027-210-2196)</p>

皆が集まる町づくり

広瀬町3丁目公園、すずかけ公園 ひろせクリエイターファーム

ひろせクリエイターファームでは、「令和七年度まえばしこどもアイデアまちづくりプロジェクト」として、「みんなが集まる町づくり」をテーマに広瀬町の公園をきれいにする活動を行っております。地域の公園をきれいにして、周辺の方々や子どもたちが安心して集まれる場所づくりを目指します。

11月までの活動で「広瀬町三丁目公園」の草むしりや、遊具の清掃を行い、公園の看板も新しく作成しました。また、きれいになった公園に近隣の方々をお呼びして、みんなでゲームを楽しむお披露目会を行いました。ここまでで頑張ったことを子どもたちの言葉でお送りいたします。

ジャングルジムのそうじを、ぞうきんが真っ黒になるまでがんばりました。(S・Hくん)

虫がいてこわかったけど、葉っぱを掃いてきれいにするのをがんばりました。(S・Iさん)

かんぱんの色ぬりは、ちょっと大変だったけど、楽しかったです。(E・Mさん)

かんぱんの色ぬりを一生懸命がんばりました。(H・Kくん)

木を切るのをがんばった。切るときにけがをしたり、たいへんだったけどよくできた。(Y・Gさん)

草をぬくとき、なかなかぬけなくて大変でした。(K・Nくん)

公園の周辺のごみひろいなどをして、きれいにするのをがんばりました。(J・Hくん)

公園は自分たちできれいにしたから、きれいになってとてもうれしいです。(I・Uさん)

これからも遊具をきれいにつかってほしいです。そして、みんなにあそんでほしいです。(M・Hさん)

草をむしるとき、根も残さずにいっしょにむしりとったのがむずかしかったです。(H・Iさん)

公園をきれいにするのは、思ったより大変でした。それでも使う人が増えるといいと思います。(Y・Gさん)

遊具を掃除するのが大変でした。とても汚れていたからなかなかきれいにならなくて難しかったです。

(R・Aくん)

木を切るときに力を入れすぎて疲れましたが、頑張って切り終えることができました。(M・Wさん)



子どもたちの活躍が公園に彩りを添えてくれました。今後とも温かいご支援をお願いします。

かねづか公園の利用

かねづか公園愛護会 会長 市川 トヨ子

このたび、1年間公園利活用について、子どもさんは砂場で遊ぶことが出来て喜んでいました。ブランコの足元に砂を入れていただき、子どもさんも喜んでいました。これからもよろしくお願いいたします。



公園の活用が課題

植野公園愛護会 会長 立見 國彦

総社町植野公園は、昭和 57 年に、地区役員や地権者・前橋市の協力で地区で初めての公園として誕生しました。

当初は、ゲートボールや親子でキャッチボール、ボール蹴り等をする人々を見かけました。現在は、正月のお焚き上げや夏の盆踊り等で使用していますが、遊ぶ子供の姿を見ることが少なくなりました。

公園が狭く、高齢者にはきつい坂があり、遊具は鉄棒だけ等の問題があり、今後の活用の課題となっております。そのような中で、自治会活動として、年 3 回の早朝の清掃活動を行っております。

また、植野東公園が 10 年程前に出来ましたが、ここはもっと狭く休憩所として使用するぐらいの所です。



ぬくもりのあふれるみんなの町公園

西片貝町公園愛護会

会長 石倉 理平

この表題は、町内にある桃瀬小学校の 40 周年記念で作成された「桃瀬かるた」にある読み札です。私たち西片貝町公園愛護会は、その読み札のような公園を町民の皆さんに気持ちよく利用していただきたいという願いをもって活動しています。西片貝町の中心となる町公園は「西片貝町公園」です。その公園を毎月第一日曜日の早朝に、偶数月は自治会役員 A 班・老人会、奇数月は自治会役員 B 班・子ども会育成会・スポーツ協会・農事組合のメンバーで清掃整備をしています。1回につき30数人の参加です。公園内には、桜、藤、紫陽花等の花木が生えており、季節によっては雑草と共に生い茂る状態が続き、合わせて熱中症の危険もはらみながらも、参加者で力を合わせ、公園美化を継続しています。参加者からは「疲れるねえ、大変だねえ」等の声も聞かれますが、その公園を子ども連れの家族、高齢者の方等が笑顔で利用している様子を見ると、「あー、苦勞した甲斐があつたなあ」としみじみ思います。また、秋に山車で町内を巡行する時の休憩・演奏場所にもなっており、子ども祭り囃子のメンバーが気持ちよく演奏してくれています。また、粗大ゴミ集団回収もこの公園で行っており、この時を待ちわびた町民の皆さんが大勢粗大ゴミを搬入しています。

このように年間を通じ町民が利活用している「みんなの町公園」を自分たちの力で維持し、町民の皆さんに「誰が綺麗にしてくれているのかな」等と少しでも関心を持っていただければ、大変嬉しく思います。



緑のある花のある四季がある公園の構築

南町公園愛護会

会長 持田 保

今回は、公園の利用を中心にご紹介いたします。

- ◆ラジオ体操(毎日、世代間交流による夏休みラジオ体操)
- ◆桃井中央イーグルスによる少年野球(土日祝祭日)
- ◆市立東中学校、市立第一中学校(7月～10月駅伝練習)
- ◆前橋育英高校陸上部、前橋育英大学駅伝部の練習
- ◆六供ソフトボール部、前橋南ソフトボールクラブの練習
- ◆群馬ダルクソフトボールの練習、JA 前橋グラウンドゴルフ大会
- ◆ウォーキングラリー大会、どんど焼き、桜祭り

例年4月～12月まで毎月第一日曜日に公園清掃、自治会役員によるグラウンドの芝刈りを4月～10月の2週間に1回行い、毎週火曜日に愛護会にて清掃しています。

昨年取得した「前橋市景観資産^{*3}」としても、今後も頑張っていくつもりです。



^{*3}「前橋市景観資産」とは

前橋らしい良好な景観を創り出している建築物、樹木のほか、前橋市ならではの風景とそれを見ることができる場所(視点場)を景観資産として登録し、大切に保全しながら市内外にPRしているものです。南町公園は「風景と視点場」として景観資産に登録されています。

下川 3 号公園の近況

下川 3 号公園愛護会

会長 井野 節子

昭和 55 年前後、前橋市南部利根川に沿うように建設された戸建ての下川町住宅団地。現在世帯数 703、人口 1,567 人、今では市内有数の高齢化率となっています。

町内の 4 か所の公園、野球のグラウンドのある中央公園を除けば最も面積が大きい 3 号公園での活動を紹介します。下川 3 号公園は東西 35m、南北 60m のほぼ長方形です。高齢者が多いのにも関わらず、年 6 回の公園や川沿いの除草清掃等には多くの住民が参加され、情報交換も賑やかに行われています。

この 3 号公園を舞台に 12 年前、当時生涯学習奨励員（下川淵地区会長）の根岸輝治さんが提唱し、体育の日から、早朝ラジオ体操が始まりました。小雨決行で、積雪でも可能な場合は行われています。体操のあとは、公園各所にある花壇の手入れです。

この春からは、公園緑地課の助成事業^{*4}にて、数十年の劣化した土留の新設・更新で見違えるような花壇が誕生しました。



^{*4}「花のあるまちづくり助成事業」

公園や道路沿いなどの公共空間を花で彩り、景観を美しく保つとともに市民の協働による緑化活動を推進する事業です。この事業では愛護会などが花壇を作成し、そこに植える花苗や種子などの購入の一部を市が助成します。市民と行政が協力しあって、「花と緑のあるまちづくり」を目指す取り組みです。

お問い合わせ先：公園緑地課 緑化政策係（027－898－6842）

愛護会四年目となって

コスモス公園愛護会

会長 関口 高之

公園整備をまかされて4年目となりました。我が公園にはたくさんの協力者がいます。花壇の整備や清掃、特に2人の協力者は、伸びすぎた木々の枝を剪定したり、草刈りをしてくれます。グラウンド整備は私の担当で、軽トラで鉄板を引き草取りをしています。頻繁に行えば月に1から2回行っただけでいつもきれいなグラウンドになっています。皆さんもやってみたらいかがでしょうか。

以上により公園周辺の人が参加する年六回の清掃では三十分程度で終わらせることができます。

きれいな公園にしておく、幼児を連れた父母の集いの場だったり、藤棚の下ベンチでは近所のご老人の一息つける場であったり、小学生から高校生、大人までがスポーツをしたりする場であったり、人の声が響き渡る活気ある公園風景になっています。

また冬がやってきます。今度は落ち葉拾いですね。地域のコミュニティー広場作りとして皆さん頑張しましょう。

みんなの憩いとなる公園を目指して

宗甫分公園愛護会

会長 高橋 徹

今年は、公園利用を中心に紹介いたします。

まずは、4月に待ちに待った待望のトイレが更新され、バリアフリーで室内は明るく、男女別々に使用可能となりました。

自治会では、毎月の有価物集団回収の集積場所として、7月から11月までは町内の皆様や周辺の幼稚園児、ブレイクダンス教室の子供達、第一中学校の美術部員の絵などがフェンスに野外作品展として飾られます。

また水神社夏祭りでの神輿巡業の休憩所、納涼祭の会場として利用されています。

例年通り、4月から12月毎月第一日曜日に清掃をし、今年は猛暑なのに雑草の生育がはやく5月から11月にかけて乗用型芝刈機や草刈機で公園内清掃を行い、6月と11月に花壇に花の苗を植栽しました。



除草整備について

上増田公園愛護会

齊藤 明

春からの公園の様子を見て、4月頃はあまり草木も伸びていないように見えました。

しかし、5月に入ると草木の成長も早くなり、私達公園愛護会の人たちが草刈り、また生垣剪定作業も追い付かない状況でした。

なんと生垣が80m以上もあるのです。ヘッジトリマーを持つ手も震えてくるようです。

また今年の暑さは、昨年以上に長く続き、体力的にも堪えました。

公園などの利用状況については、休日になると家族連れなどが公園の遊具を利用して遊んでいます。それから遊具が少ないので、これから安全で使いやすい遊具を提供していただきますようお願いいたします。

それから行事等に関しては、6月の除草剤の講習会は有意義でしたが、草が伸びる前に、除草用機械も含めて適切な講習会をしていただきたいと思います。

愛護会活動について

朝日台公園愛護会

会長 野田 好男

大胡町向町朝日台団地の中にある朝日台公園は、花と木々に囲まれ雄大な赤城山が一望できる公園として、区民から愛されています。愛護会活動として、5月・11月は、老人クラブの皆様の協力を得て、花の植え替えや樹木剪定などを実施。6月・9月・12月は、区民総出による草刈り、落ち葉拾いなど環境美化活動を行っています。時季には、花壇や樹木への水やり、除草、剪定作業などを行います。また、公園管理事務所の講習会に参加して、公園管理に役立てています。

公園では、グラウンドゴルフを楽しんだり、休日には、ブランコや滑り台で楽しそうに遊ぶ家族の姿が見られます。夏休みになると花火を楽しむ子どもたちの

大きな声が聞こえてきます。永年にわたり、向町区民の皆様ならびに老人クラブの方々による公園愛護会へのご理解ご協力が大きな力となり、また、歴代愛護会責任者の方のご尽力により今の朝日台公園があります。これからも区民の公園であり続けるよう努めてまいります。



「除草剤使わない公園」

天川原町堂木公園

会長 大森 正

天川原町堂木公園愛護会会長の大森正です。前会長が病気のため、急遽会長を引き受けました。当初2年間の約束でしたが、後任が退会したため継続して4年目の会長をしています。新潟にいる時、新潟中越地震にあい、個人的被害はなかったですが、日に何十回も余震が続く中で、停電で、交通手段、ライフラインもないまま夜を過ごすというのは結構きつく、みんな近所の公園に集まり、ビニールテントの中に集まって暖をとっていました。家の中も玄関が開かない窓が開かないとか、助けあっていました。その時の経験から災害時は近所での連携が一番助けになると思って、月一回であるが、みんなの顔を見て高齢の方の元気を確認して除草しています。近くの方はそれ以外でも進んで植木の手入れや掃除をしてくれています。先日、嬉しいことがありました。近所のお母さんに「ここの公園は除草剤を使ってない。小さい子供でも砂場も安心だ」と言ってくださいました。自分達の活動を見てくれて、安心して遊べる公園だと思ってくれたんだと嬉しくなりました。暑い日もありますが、もうちょっと頑張ってみようと思いました。

愛護会活動について

前沖公園緑地愛護会

会長 金子 恒

前沖公園には、公園の東側に幼児向けの遊具があり、休憩用のあずま屋と水道、トイレなどが設置されています。

中央から西側は、ボール遊びなどができる多目的な広場の公園です。

愛護会では樋越町自治会で組織されている役員が、定期的に除草作業や樹木の剪定作業などを行っています。

また、春・夏・秋の年3回の環境美化活動と該当地区の自治会会員の協力で、除草や片付けなどの美化活動を行っています。

この時に集められた草葉や枝は、公園管理事務所の協力で片付けられます。自治会では、年3回の環境美化運動と冬季に行う落ち葉集めで、子どもの参加を募り多くの子どもたちが参加するようになりました。

このような活動により、環境美化への意識の醸成につながっていると考えられます。



緑地帯を草とゴミから守る

駒形町高圧線緑地帯

廣明 洋子

この緑地帯の清掃管理は、年二回の奉仕活動のみでした。

つつじは大きく育ち、背丈程伸びた草むらには、ペットボトルや空き缶、コンビニの空袋が投げ捨てられ、景観を損なっていました。

また、伸びた草木で、通りの見通しが悪くなり、事故の懸念もありました。

私達の活動の始まりは、見通しを良くするためのつつじの刈り込みからでした。

現在の私達の活動は、つつじの刈り込みと除草、春は暑さに強くグランドカバーにもなるポーチュラカを、秋にはパンジーと葉ボタンを植えることで、散歩や車中の皆様に花を楽しんでいただいています。これによって、ゴミを捨てられることもなくなりました。

これからも、地域の皆様に、花と緑を楽しんでいただけるよう、細く長く続けられたら良いと思っています。

みんなの公園管理

中島ポランの広場公園愛護会、中島なかよし公園愛護会

会長 小林 久利

中島ポランの公園は、富士見町時沢の中島自治会地区のほぼ中央に位置し、住民センターの南に隣接しています。

中島のなかよし公園は、富士見町時沢小学校の東、約200メートルのところであり、赤城県道から少し東の住宅地の中にあります。

2つの公園は、平日は、学童が学校の授業が終了後、家からの友達同士で集まって、中島なかよし公園は公園設置の遊具で遊んだり、中島ポランの広場は遊具が鉄棒しかありませんが、子どもたちは、鬼ごっこやボール遊びなどを楽しんでいます。

また、休日などにも、子どもたちの元気な声がしており、ベビーカーに子どもを乗せ立ち寄って遊ばせたりし、にぎやかです。

また近所の方の散歩コースにもなっているため公園に立ち寄り、あずま屋の椅子に腰掛けて子どもたちの様子を見るなど、のどかな風景でもあります。

ただ今年も猛暑の影響で草が生えていて困っていましたが、年3回の清掃活動を自治会主体で実施した結果、苦労はしましたが、きれいな公園を維持することができました。この場をお借りしてご協力くださいました皆様ありがとうございました。

花壇づくりへの取り組み

百軒町公園愛護会

会長 坂本 正敏

町内唯一の「百軒町公園」は、区画整理の余剰地として生まれた大きな公園です。休日には親子が自転車の練習をしたりボール蹴りやブランコで遊ぶ姿がよく見られます。グラウンドゴルフ愛好会も活動しています。また、あずま屋で休憩する方や園内の遊歩道を定期的に歩き固定器具でストレッチ運動に挑戦する方など、町内の皆様に親しまれている公園です。

春を迎え、暖かくなると毎月の除草作業が大きな課題となります。

そこで、公園内の歩道スペースからフェンスまでの部分を掘り起こし、球根や草花の苗を植え花壇として、各組(団体・仲間・愛好者)の立て看板を取り付

けます。そして、季節ごとに草花の変化を楽しめたなら、

毎月の除草作業にも笑顔と会話があふれ、皆さんが草花

に興味・関心を抱き集える「百軒町公園」となることを願って

やみません。



上泉町新田塚沼公園愛護会

上泉町新田塚沼公園愛護会

会長 近藤 成幸

新田塚沼周辺は近隣住民の散策路の一部として親しまれており、春には満開の一本桜で癒され、秋には栗拾いを楽しみ、沼にはカモ達が優雅な泳ぎと長い潜水を楽しませてくれます。

かねてより公園設置の強い要望があり、この度上泉町初の公園として今年4月に認可され、同時にトイレ・手洗い場・ベンチを設置、今年度中には四阿も建立される計画となっています。現在は小規模な公園ではありますが、自治会・長寿クラブ協調のもと愛護会を立ち上げ、公園の維持管理活動を進めています。

今は沼一周の散歩道を含めた草刈りが主な活動となっており、今後は自然環境を維持しつつ、老若男女問わず、地域の交流の場としての機能を充実させ、皆が楽しめる公園に活性化させていきたいと考えています。



四季の移ろいを感じられる憩いの公園を目指して

南町二丁目北公園愛護会

会長 萩原 康男

今回は、公園の利用を中心に紹介させていただきます。

まずは、昨年設置されたターザンロープが子どもたちに人気を博していますし、ベンチも増設させていただき昨年植栽した沈丁花、くちなし、蠟梅、そして以前に植樹した金木犀が四季折々に香りを漂わしています。

また自治会行事として、輪投げ大会を三世代交流の場として賑やかに、7月から11月に野外作品展としてフェンスに作品展示、水神社夏祭りの神輿巡行の休憩所、防災訓練の避難場所として利用されています。

例年のごとく4月から12月の毎月第一日曜に清掃を実施すると共に、猛暑なのに雑草の生育が良く5月から10月にかけて乗用型芝刈機や草刈機にて公園の清掃をし、6月と11月に花壇に季節を感じる花の苗を植栽しました。



南四駅南大通り街路樹愛護会

南四駅南大通り街路樹愛護会

会長 中村 伸二

南四駅南大通りは前橋駅南口に突き当たる通りで、その内、南町4丁目に掛かる部分の美化などを行っています。会員は自治会本部役員と1～12組までの組長、副組長31名と美化に関わって下さっている有志若干名です。毎年6月と11月に清掃や草むしりなどを行っていますが、分離帯の中などは伸びると横断車両や歩行者が左から来る車両が見えにくくなるので事故に繋がりがかねないので、本部役員だけで、刈る時もあります。前愛護会会長が花を植え何時も綺麗に世話をしてくれていたのが、四季折々の花で季節を感じる事ができましたが、今は仕事しながらなので手が回らない状態です。年齢も上がってまして若い方も少なく仕方のない所もあります。これからも皆で知恵を出しあって維持管理していこうと思っています。

景観と周辺居住者との融合をめざして

宗甫分線街路樹愛護会

会長 持田 保

今年は、昨年に決めた通りに4か所の花壇に6月は日々草、11月にパンジーを植栽し、公園管理事務所のインスタ*⁵にも上げてもらいました。

また花壇以外の低木は、春に剪定してもらっていますが、その後、雑木が伸びて交通の妨げとなるため、雑木を伐採したりしています。高木の唐楓は、自然災害による倒木問題や秋から冬にかけての落葉問題も含めて間引き伐採を依頼し、3本伐採することが出来ました。

これからも徐々にですが、低木の場所を花壇化して見通しが良く、華やかな花が咲く街路にしていきたいと思っています。



*⁵「公園を紹介しませんか？～公園管理事務所Instagram～」

前橋市公園管理事務所では、公式Instagramにて、市内の公園で行われている取り組みや季節の見どころを紹介しています。地域の皆様が撮影した 公園の花や風景、行事の様子 などともご紹介できますので、ぜひお気軽にご相談ください。

あなたの地域の公園の魅力を、一緒に発信してみませんか？

公園管理事務所Instagram

前橋市公園管理事務所【公式】

maebashi_park



はじまりました！公園・街路樹通報フォーム

広報まえばしでもお知らせしたとおり、今年度より公園・街路樹危険通報フォームがスタートしました。お手持ちのスマートフォンから、公園内や街路樹の危険箇所を簡単に通報できます。市の公式LINEから、または下の二次元コードを読み取ることでアクセスできます。公園や街路樹の危険箇所は、日頃から利用している皆さんの“気づき”によっていち早く発見されます。公園の除草ごみ回収フォームとあわせて、ぜひご活用ください。



どうする？桜の未来

市内では近年、外来害虫 クビアカツヤカミキリ による被害が広がり、桜の木が内部から食害されて弱ってしまうケースが増えています。そのため、やむを得ず伐採や更新作業を行うことがあり、地域の皆さまにはご心配をおかけしています。しかし、伐採は“終わり”ではありません。未来のために桜を守り、よみがえらせるための大切な一歩です。前橋市では、クビアカツヤカミキリによる被害を最小限に抑えながら、地域とともに桜を未来へつなぐため、次の取り組み「SAKURA Reborn」プロジェクトを進めています。



新しい公園愛護会の仲間を紹介します

令和7年度から新たに愛護会活動をはじめの団体を紹介いたします。これからどうぞよろしくお願いいたします。

- ・上泉町新田塚沼公園愛護会(上泉町新田塚沼公園)
- ・La Bella Vita！愛護会(はけがわ緑地)
- ・暮鳥詩碑愛護会(上石倉緑地)
- ・本町3号公園愛護会(本町3号公園)
- ・牛池川街路樹愛護会(牛池川遊歩道)

編集後記

会報「みどりのひろば」第五十号の発行にあたり、ご多忙の中、原稿や写真をご提供いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。誌面の都合により、一部原文の修正や掲載を見送らせていただいた原稿・写真があることを、何卒ご容赦ください。

今回は五十号という節目でもあり、公園で活躍する子どもたちにも記事づくりに協力していただきました。地域ならではの温かい取り組みを、皆さまにお届けできたのではないかと思います。

この会報誌が、今後の愛護会活動の一助となりましたら幸いです。これからも引き続き、公園愛護活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。